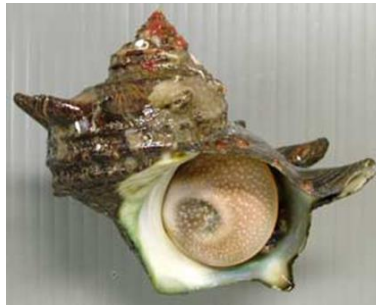


令和元年度三重県沿岸種資源評価

サザエ



資源水準・動向

中位・増加

生物情報

- 産卵期は7～8月で、産卵場は親サザエが分布する岩礁域、浮遊生活は1～4日間。
- 1歳で殻高10mm前後、2歳で殻高20mm、3歳で殻高40～50mm、4歳で殻高60～70mmとなる。
- テングサ類、アオサ類、ミル等の小型海藻が好適な餌料となる。

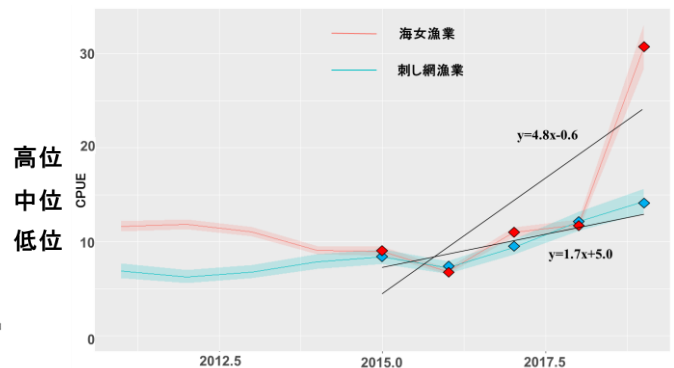
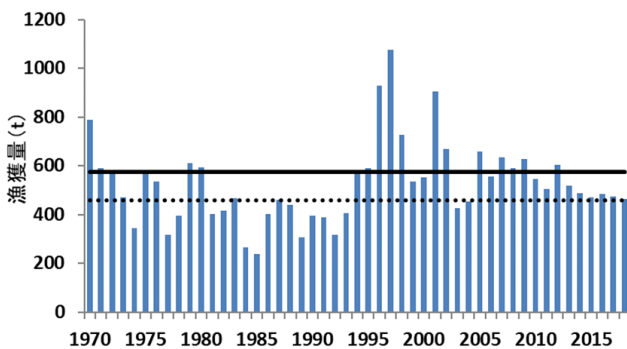
漁業の特徴

- 漁獲のほとんどが伊勢湾口から熊野灘海域で、海女漁、刺し網、ひし突きで漁獲される。
- 漁期は地区や漁法によって異なるがほぼ周年。
- 漁獲主体は3歳以上。
- 市町別漁獲量では志摩市が最も多く、県内漁獲量の49%を占める(2017年)。



資源状態

- 漁業・養殖業生産統計年報による三重県漁獲量の推移から資源水準は「中位」とした。
- 三重外湾漁協の志摩市A地区の海女漁と刺し網(参考)のCPUE(※)から動向は「増加」とした。



※漁法別(海女漁、刺し網)日別人別漁獲量から解析した標準化CPUE(右図)

資源管理の取組

- 体長等の制限(殻蓋の長径2.5cm以下は採捕禁止:公的規制)

将来考えられる資源管理の取組

- 漁獲サイズの制限
- 産卵親貝の保護
- 産卵期の漁獲制限